

2022 年前期 SBDL U14 ウインターラウンド実施要項

- 1.大会名 正式名称 ▶ 2022 年前期埼玉県バスケットボールデベロップメントリーグ
U14 ウインターラウンド
大会呼称 ▶SBDL ウインターラウンド 2022
(英語表記：SBDL U14 Winter Round 2022)
- 2.主催 一般社団法人埼玉県バスケットボール協会
- 3.目的
 - ・登録したすべての選手の長期的な育成を図ること。
 - ・実力が拮抗したゲームの設定を通して、選手の育成を図ること。
- 4.協賛 モルテン、ミカサ
- 5.期日 2022 年 1 月 9 日 (日) ～ 3 月 20 日 (日) までにすべての試合を消化する。
1 月 9 日 (日) 16 日 (日) 23 日 (日) 30 日 (日)
2 月 6 日 (日) 13 日 (日) 20 日 (日) 3 月 6 日 (日) 20 日 (日)
学校行事、県協会行事を除いた上記の期日をマッチデーとして中心に実施する。
*上記の日程で開催ができない場合は、各リーグで期日をもうけても実施してもかまわない。
- 6.開催会場 埼玉県内各地
- 7.競技方法
 - ・(公財)日本バスケットボール協会競技規則に準ずる。
 - ・P リーグ (県) 1 グループ最大 8 チームまで。L リーグ (地区リーグ) 1 グループ 6 ～ 8 チームまで総当たりのリーグ戦。
 - ・県 1 部リーグ の下位チームと県 2 部リーグの上位チームで 2022 後期 SBDL U15 ウインターラウンドにおいて自動的に昇降格の対象とする。
- 8.表彰 すべてのリーグ (P リーグ・L リーグ) において優勝チームを表彰する。
- 9.ゲームエントリー
 - ・1 チーム選手 15 名以内、スタッフ 4 名以内 (コーチ、アシスタントコーチ、チーム責任者、マネージャー等)、の計 19 名以内とする。

- ・チームが選手の安全管理上の理由で、トレーナーのフロアでの活動を希望する場合は、所定の「トレーナー登録申請書」を第1節に大会運営委員に提出する。
- ・これ以外にチームのサポートスタッフとして、最大3名会場に入場できる。
- ・施設に入場するサポートスタッフは、選手やベンチスタッフと同様に「施設来場者健康状態記録表」に氏名等の項目を記載し、会場責任者が明確に把握する。

【サポートスタッフの役割】

- ・選手に健康上のトラブル等があった場合の対応ができる大人とする。
- ・写真/動画の撮影を行うこともできるが、SNS等への投稿は認められない。
- ・ベンチエリアでの指示、指導を行うことはできない。
- ・以下リーグ戦エントリーの条件となる。2021年U15リーグから完全実施。

リーグ戦	ユニフォーム	コーチライセンス	レフリーライセンス	施設
県 1・2部	必須	E級ライセンス以上の保持者が指揮を執る	毎節C級ライセンス以上の審判員を帯同させる。	大会期間中に会場を1日以上提供することができる。
県 3部	リバーシブル可	E級ライセンス以上の保持者が指揮を執る	毎節E級ライセンス以上の審判員を帯同させる。	大会期間中に会場を1日以上提供することができる。
地区 4・5部	リバーシブル可	E級ライセンス以上の保持者が指揮を執る	毎節E級ライセンス以上の審判員を帯同させる	大会期間中に会場を1日以上提供することができる。
地区 6部	リバーシブル可	E級ライセンス以上の保持者が指揮を執る	毎節E級ライセンス以上の審判員を帯同させる	大会期間中に会場を1日以上提供することができる。

*県リーグ（1・2部）のユニフォーム、コーチライセンスについては、「U15選手権全国大会兼ジュニアウィンターカップ」に準じて上記のとおりする。

*原則各チームマッチデーに試合が実施できるようにする。万が一試合が設けることができない場合は、各リーグで開催しも構わない。また該当チーム同士で別日に日程を設けて試合を消化しても構わない。

10. 出場選手資格

- ・2021年度公益財団法人日本バスケットボール協会(JBA)チーム加盟・競技者登録をしているU14の選手。
- ・2022年1月4日(火)までにチーム登録をしていること。
- ・選手・コーチはスポーツ安全保険に加入していること。リーグ戦運営委員に提出する。

*グループ代表者会議にて、すべての出場選手、チームが登録されていることを確認するために「Team JBA」から「登録一覧表名簿」を印刷して第1節までにリーグ戦運営委員

に提出する。

11. 出場エントリー期日/エントリー方法

【エントリー期日】 2021年11月2日～11月22日

【エントリー方法】

- ・TEAM JBAの「大会申込」から「U14リーグ戦ウインターラウンド」を検索し、希望リーグにエントリーする。
- ・プログラムデータはTeamJBAでエントリーする際に提出する。
※ TeamJBAでのエントリーの途中に提出するところがあります。ファイルを提出しないとエントリー手続きができませんので、あらかじめ準備しておいてください。

12. 参加料

- ・1チーム3000円とするが、「新型コロナウイルス」の影響でリーグ戦が中断することを想定し、リーグ戦終了後に各リーグの財務担当者が各チームの参加費（3000円）を徴収し、一般社団法人埼玉県バスケットボール協会が指定する口座に入金する。

13. グループ代表者会議

- ・3つの密を避けるために、監督会議や代表者会議は事前にオンラインでの開催、オンライン開催が難しい場合は参加チームへの連絡事項や注意事項をメールで展開する、当日に文書で配布するなど大勢の人が一同に会さないように各支部で工夫して2021年12月26日（日）までに各リーグで実施すること。**必ず各チーム1名以上出席してください。遅刻または欠席の場合大会参加できません。**

14. 提出物

- ・「Team JBA 登録一覧表名簿」「スポーツ安全保険団体員名簿」「参加同意書」を代表者会議で各リーグの運営委員に提出すること。
- ※ 複数のユニットでリーグ戦に参加する場合は、「ユニットエントリー」を大会第1節にそれぞれの運営委員に提出する。県協会HPよりダウンロードする。
- ※ リーグ戦開催期間中の選手の新規エントリーは認めない。
 - ・以下の2点を、大会当日の朝、大会本部に提出する。
「施設来場者健康状態記録表」(<http://saitama.japanbasketball.jp/>)
「健康チェックシート」(<http://www.japanbasketball.jp/wp-content/uploads/11-For-Team.pdf>)

15. 競技規則

- ・（公財）日本バスケットボール協会競技規則に準ずる。
- ・ディフェンスについては、JBAが提唱するマンツーマンディフェンスの基準規則に準ずる。

- ・ 第1試合のT Oは、原則第3試合のチームが行う。トーナメント表の若い番号のチームがT Oを、後のチームが得点・モップ担当をする
- ・ ベンチは番号の若いチームがT O席に向かって右側とする。

16. エントリー変更

- ・ 次の試合のチームは、前の試合のハーフタイム終了までにスコアシートに選手、コーチ、A コーチの氏名を記入する。これをもって最終登録として以後の変更を認めない。

17. ユニフォーム

- ・ 対戦表の若い番号のチームが淡色を着用する。

18. 感染症対策

- ・ JBA 各種ガイドラインに則り、大会を運営する。
- ・ チーム責任者は、以下の URL から「JBA バスケットボール活動再開に向けたガイドライン」をダウンロードし、選手並びにチーム関係者に配布するとともに、感染症対策について対応を徹底する。
- ・ チーム責任者は、以下の URL から【新型コロナウイルス対応チェックリスト】をダウンロードし、選手並びにチーム関係者に配布するとともに、健康状態を確認する。
- ・ チーム責任者は、試合当日、会場に到着次第「健康チェックシート」「施設来場者健康状態記録表」を大会本部に提出する。
- ・ 各種資料ダウンロード URL

【JBA バスケットボール活動再開に向けたガイドライン】第3版（2021年1月20日作成）
(http://www.japanbasketball.jp/wp-content/uploads/JBA_Guideline_3rd_20210120.pdf)

【健康チェックシート】

(<http://www.japanbasketball.jp/wp-content/uploads/11-For-Team.pdf>)

【施設来場者健康状態記録表】

埼玉県バスケットボール協会 HP からダウンロード (<http://saitama.japanbasketball.jp/>)

【個人情報の取り扱いについて】

- ・ 個人情報について埼玉県バスケットボール協会は、厳正なる管理の個人情報を取り扱い、大会関係者の健康状態の把握来場可否及び必要な連絡のためにのみ利用します。
- ・ 個人情報保護法の法令において認められる場合を除き、ご本人の同意を得ずに第三者に提供することはありません。

19. 試合の進行について

- ・試合ごとに人の入れ替えを行う。
- ・ハーフタイムは、試合をしている当該チームがコートを使用する。
- ・試合終了後は、試合をしたチームは速やかに会場を出る。
- ・退場完了後、成人が消毒作業をして換気をする。
- ・消毒は、各チームで用意したアルコール（70%以上のもの）を使用する。
- ・換気終了後、役員の声かけに応じ、次のチームが入場する。
- ・スコアシートは、試合開始10分前までに記入をすること。
- ・試合は以下の項目に留意し、進行をする。

ア チームの共有物は使用しない 例) ボトル、ジャグ、ベンチタオル

イ ベンチでは、できる限りマスクを着用する。

ウ 各自、座る場所を固定し、自分の場所以外に座らない。

エ ベンチでの応援は、拍手を主とし、大きな声は極力控える。

オ コーチはマスクを着用する。

カ ピリオド間のベンチでは広く間隔をとり、密を避ける。

- ・TO とモップ係、得点板のメンバー以外は、試合終了後すぐに体育館から退出する。
- ・試合終了後は、手洗い、消毒を必ず実施する。

・感染症予防対策のため、ナイトゲームや密を避けるために、該当チーム同士の TO 運営の場合の特例措置として場合以下のとおりとする。

ア TO チームは別枠として会場に入場することを認める

イ A チームより4名（テーブル）B チームより4名（スコア、モップ）

※チームの人数が足りない場合、外部CチームよりTO チーム最大8名の入場を認める。

・各チームの会場への入場時刻、退場の時刻を明確にし、感染症対策を徹底することで1チームにおいて1日2試合まで試合を行うことを認める。

20. その他

- ・会場に入場できるのは、「9. チーム構成」で認められた者および大会役員とする。これ以外者の入場は、認めない。
- ・提出書類に記載されたデータ（画像データ含む）は、主催者が大会運営のため大会プログラムや大会公式サイトなどに使用するほか、大会報道を目的として報道機関に提供することがある。その他、個人情報および肖像権の取り扱いについては別途定める。
- ・大会会場への往復移動中ならびに大会期間中に大会会場での負傷に備え、必ず保険への加入すること。保険に加入していないコーチ、選手は、大会に参加できない。各チームで加入手続きをしておくこと。
- ・会場内は、互いに譲り合うとともに荷物の管理をすること。
- ・ゴミは、各自・各チームで必ず持ち帰ること。

21. タイムテーブル *時間は目安とする。

時間	行動
会場開館 8:30	第1試合 集合 Aコート濃チーム8分→淡チーム8分 Bコート濃チーム8分→淡チーム8分
	第1試合 アップ開始
	第1試合 スコアシート記入(試合開始10分前までに記入する)
	第1試合のTOメンバー準備(第2試合淡色チーム)
9:30	第1試合 開始 更衣室換気
第1試合前半 10:00	第2試合のチーム入場可 更衣室利用 ゲームの進行が早いコートの濃チーム→淡チーム 進行が遅いコートの濃チーム→淡チーム から三密にならないように更衣室を利用する。
第1試合後半	第2試合 スコアシート記入(試合開始10分前までに記入する)
第1試合終了 11:10	コート換気 ベンチ、TOテーブル消毒
	第2試合 20分間のコートアップ開始
	第1試合のチーム 更衣室使用可 試合が終了したコートのTOチームから更衣室を利用する10分間(TOメンバーを最優先)
11:30	第2試合 開始 更衣室換気
第2試合前半 12:00	第3試合のチーム入場可 更衣室利用可 ゲームの進行が早いコートの濃チーム→淡チーム 進行が遅いコートの濃チーム→淡チーム から三密にならないように更衣室を利用する。
第2試合後半	第3試合スコアシート記入(試合開始10分前までに記入する)
第2試合終了 13:10	コート換気 ベンチ、TOテーブル消毒
	第3試合 20分間のコートアップ開始
	第2試合のチーム 更衣室使用可 試合が終了したコートのTOチームから更衣室を利用する10分間(TOメンバーを最優先)
13:30	第3試合 開始 更衣室換気
第3試合前半 14:00	第4試合のチーム入場可 更衣室利用可 ゲームの進行が早いコートの濃チーム→淡チーム 進行が遅いコートの濃チーム→淡チーム から三密にならないように更衣室を利用する。
第3試合後半	第4試合スコアシート記入(試合開始10分前までに記入する)
第3試合終了 15:10	コート換気 ベンチ、TOテーブル消毒
	第4試合 20分間のコートアップ開始
	第3試合のチーム 更衣室使用可 試合が終了したコートのTOチームから更衣室を利用する10分間(TOメンバーを最優先)
15:30	第4試合 開始 更衣室換気
第4試合終了 17:10	ベンチ消毒、第4試合 更衣室使用可 試合が終了したコートから濃チームから更衣室を利用する10分間

* TOに関して

第1試合の第2試合の淡色チームが担当する。

第2試合は第1試合の勝ちチームが担当する。

第3試合は第2試合の濃色チームが担当する。

第4試合は第3試合の勝ちチームが担当する。

・各チームの会場への入場時刻、退場の時刻を明確にし、感染症対策を徹底することで1チームにおいて1日2試合まで試合を行うことを認める。